

うるま市 うるま市地域雇用創造協議会

事例紹介

(1) 実践メニューの事業概要

(物産商品化推進事業)

うるま市の有する資源である一次産品(農水産品)を活用し、マーケティング調査（需要と供給のバランス等）市場性を踏まえたうえで、地域事業者と連携・協働・ソリューションを図り「地域連携型6次産業化」スタイルを構築していく。また、開発される“モノ”的本質性を表したパッケージデザイン開発を通じて、素朴でありながらもオリジナリティ溢れる“うるま市らしさ”を大切にしながら試作品開発に取り組んでいる。公開セミナーを経て商品化された成果物は、マスコミ・媒体へ戦略的プロモーションを図り、周知する事による消費拡大・経済効果を通じて雇用創出・拡大を目指している。

(観光商品化パッケージ推進事業)

うるま市が課題としている通過型観光からの脱却、東海岸への観光客誘客を図るために、観光資源を発掘し、地元観光関連の事業所、団体と連携し、観光イベントによる誘客の促進、観光情報の発信、新たな観光商品の開発を行う。

(2) 実践メニューでの事業実施内容

(物産商品化推進事業)

[課題]

- ・地域資源、特に多様な農水産品を活用した特産加工品の製造（消費活動につなげる）
- ・生産した農水産物の規格外品廃棄状況の打破（生産利益向上の仕組みづくり）
- ・地元事業者が連携していない（地元企業同士の連携・協働性の構築）

[マーケティング調査]

基本的に、県内、県外の方々を対象にしたマーケティング調査を実施。

まず、第一段階として、共同開発事業者確定前に、活用する農水産品を試食いただきながらのイメージから、それをどのような商品に加工（開発試作品）すると良いかをリサーチ。

第二段階では、一番多かった加工品（開発試作品）について「大きさ（容量）」「価格帯」「味の方向性」をリサーチ。最終段階では、共同開発事業者と製造した試作品（3～5種程度）を用いての試食モニタリング調査を実施し、集計結果、回答内容の分析をもって試作品最終決定のエビデンスとする。

[商品開発]

当協議会の試作品開発のあり方についての考え方は次の通りとして考えている。

- ・スタッフだけの素人の主觀的な発想で企画を進めない→マーケティング調査の重要性
- ・地元のプロの方々と意見交換しながら試作品開発を進める→地元事業者と連携と継続性
- ・販路先を意識した試作品開発→試作品本体、パッケージデザイン、販促物の創造性

[販路開拓]

マーケティング調査の結果からターゲット像を想定、意識し、そこに届けるための流通方法・形態を鑑みたうえで、公開セミナー後、商品化いただく事業者と販路先を検討していく。

開発した試作品に活用する原料（農水産品）の供給量に見合う販路を検討することも重要である。

[PR]

開発した試作品を公開セミナー後、商品化・販売に至るまでの期間に、マスコミ、情報媒体に対して、ニュースリリースを情報発信し、プロモーションを図る。特に地元ローカルTV、新聞、情報誌、webサイトに関しては先方担当者とコンタクトが取れるまでアプローチを続けた。ここで重要なのは「商品広告」としてではなく「地元から発信する、旬な記事、ユニークな記事、社会性のある記事」として情報を届ける事である。

[公開セミナー]

当協議会の実施した公開セミナーは、声掛け、案内する参加者を実際に試作品を商品化・販売の可能性がある事業者に絞り込み実施した。

これまでには、試作品を共同開発した事業者や、本事業に主旨賛同いただける事業者によって商品化されている。（津堅にんじんロール×4店舗、もずく天ぷら×1社（準備中））

[実施に当たっての苦労等（実施体制面、事業者の協力確保、事業性の確保等）]

- ①本市ならではの商品開発スキームの構築
- ②試作品共同開発いただく協力事業者の確保
- ③試作段階でリサーチによる意見・提言等をパーティシワに聞き入れてもらう事
- ④公開レシピ提供への協力
- ⑤パッケージデザイン開発
- ⑥公開セミナー後、試作品を商品化する事業者の確保

[今後の実施予定]

当協議会最終年度である26年度事業は、「もずく」を活用した惣菜を3種類。「黄金いも」を活用した菓子を2種類、試作品を地元事業所と共同開発（連携型6次産業化スタイル）で進行中である。

また「津堅にんじんロール」においては、10月上旬現在、試作品を共同開発した「プティフル」以外に市内菓子店3店舗から商品化に至った。11月には新規でもう1店舗から商品化される予定で市内に拡がりつつある。これら店舗では、協議会雇用創造事業へ主旨理解いただき、廃棄品のにんじんを活用するというコンセプト、一定のルールを尊守いただくものとして、公開されたレシピを基本にした、各店舗の特徴を活かしたオリジナルの「津堅にんじんロール」が誕生している。

今後は市内外から本市へお越しいただく強力な誘客ツール「ご当地スイーツ」として、新たにプロモーションを図り、更なる発展を続け、最終的には市内10店舗で販売、全店舗トータルで年間／1千万円の売上を目標に、これまで廃棄されていた津堅にんじんの消費拡大、生産者利益向上、ケーキ製造・販売店舗の売上拡大を通じて雇用創出・拡大、地域活性化を目指すものとする。

●試作品マーケティングリサーチ、モニタリング風景



●商品写真（本体・リユースボックス・風呂敷・リーフレット・はがき）



●公開セミナー風景



●試作品会議風景



(観光商品化パッケージ推進事業)

主として、うるま市の工芸作家を中心とした展示販売を行う「暮らしにアート in 伊計島～おきなわ作家市～」の開催を通して、地域事業所の物産販売、手づくり体験や店舗への誘導消費拡大企画などを行い、雇用創出に向けた観光誘客と経済の活性化への仕組み作りを行う。

[課題]

- ・通過型観光からの脱却（入域客の消費活動を誘う仕組み作り）
- ・知名度の低さを改善（足を運ばせるきっかけ作り）

[マーケティング調査]

数年来、手づくり品、工芸品を扱った大小様々な販売会が県内で広がりを見せ、幅広い層の集客実績があることに着目し、実際に販売会へ足を運び、関係者からヒヤリング等も行った。また、大量生産対象消費からの回帰現状ともみられる手づくり品へのニーズの高まりも雑誌、SNS等の情報から得られた。

県外でも工芸・クラフト関連の催事はここ数年盛んに行われ、長野県松本市で行われるクラフトフェア松本では2日間で約5万人を集めるほどの集客力を持っている。これらの情報から、十分にニーズ、誘客力はあると考えた。

[実施にあたり]

工芸品販売企画では、雑誌、ネットでの調査から知り得た工芸作家を1件1件訪ね、その工芸作家から新たに紹介推薦してもらうなどして、声掛けを行った。

物産販売に関しても、徐々に作っていたネットワークを活用し、事業所や個人を訪ね、情報収集や意見交換を行い、販売への参加を呼び掛けていく地道な作業を行った。

消費拡大企画については、それまでに日々の地域情報を収集していた中から、店舗候補を選定し声掛けを行っていった。

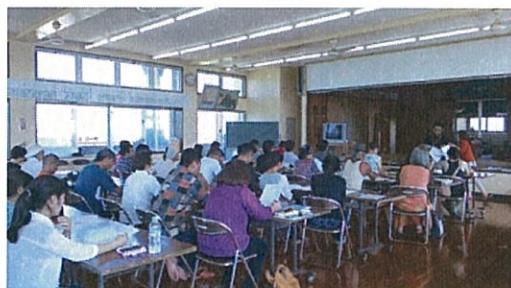
宣伝活動は県内メディア（テレビ、新聞、雑誌、ラジオ）へのニュースリリースの発信と個別問合せ等から多くの取材を取り付け、低コストでの広報を行った。県内主要機関へは郵送でポスター・チラシを配布し、またレンタカー協会、ホテル組合等機関にも協力を依頼し、無償でのチラシ設置を行っていただいた。

[実施に当たっての苦労等（実施体制面、事業者の協力確保、事業性の確保等）]

事業をスタートして半年ほどした段階から本格的な企画準備に入ったが、当初は工芸関係の人脈も知識もない状態で、一定程度の工芸作家と面識を持つまでは本当にこの企画が実施できるのかさえ不安であった。だが、徐々に人脈を広げることができた。

物産販売に関しても、当初はこのような催事への参加を経験していないこと等を理由に参加をためらう地域の方も多く、また我々の事業への理解もまだ浅かったため、理解と協力を得るために忍耐強く、地道にコミュニケーションを図り、関係性を築いていった。

事業所への消費拡大企画についても、売上の向上が十分に見込めるとまでは言えない企画内容のまま実施にふみきったことから課題も多く残ったが、逆に今後に活かせる経験となって実施の意義は十分にあったと考える。



出展作家説明会(企画公開セミナー)



消費拡大企画説明会（企画公開セミナー）

(3) 事業の実施結果・成果

(物産商品化推進事業)

公開セミナー後では「津堅にんじんロール」を製造販売に取り組む事業所が4店舗に拡大し、1店舗が参画予定。本市で楽しめる三者三様な味の「津堅にんじんロール」として『ご当地スイーツ』に成長を続けている。

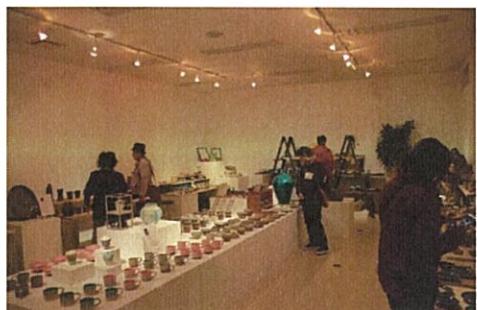
津堅にんじんロールの他、津堅にんじんチーズタルト、津堅にんじんゼリー、冷凍もずくかき揚げ天ぷらの商品を開発し、生産者と製造事業者の収益拡大、4名の雇用創出につながった。また、特産品ガイドブック製作では、デザイン会社で2名の新規雇用につながっている。

(観光商品化パッケージ推進事業)

実施ノウハウ（実施マニュアル）、実施後の検証結果等（来場者アンケート分析）、売上分析等。それらは各企画への参加者へ実施後に配布を行っている。

アウトカムとしての数字面では販売に参加したことをきっかけに創業を開始した工芸作家が2名出了。ただ、それ以外に波及的に発生した効果としては、近隣のパン軽食販売店が催事期間中、商品が売り切れるほどの来店者があり、それを機会にその後の誘客イベントの時期にアルバイトを雇用するなどの状況が生まれた。

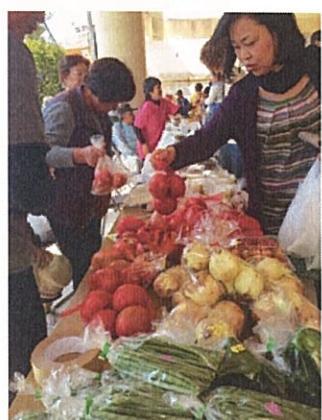
また、これまで物産販売に参加したことのなかった地域の方がこの催事をきっかけに観光客への惣菜販売を近隣の観光施設で始めたるという創業の事例も生まれた。



工芸品展示販売会場



手作り体験（市内作家とんぼ玉制作）



地域物販

贈り物にも自分ご褒美にも。

おきなわのてみやげ



うるま市特産「黄金芋」を使った「うるまの埋蔵金」1個136円6個入
980円。金塊風のウイットに富んだ
パッケージ。

ブティ・フル石川店
☎098-965-4702
ブティ・フル みどり町店
☎098-972-3575
ブティ・フル 江洲店
☎098-973-5784
営／9:00～21:00
休／年中無休
P／あり



津堅にんじんロール1,050
円。石川店、江洲店、みどり
町店の3店舗にて販売。

作る、贈る、もらう。みんなハッピーなロールケーキ

うるま市在「Momo box株式会
社」が制作、総合ノロデュ
ースを
うるま市地域雇用創造協議会
地域活性化プロジェクト
化粧箱とうさぎ柄の風呂敷は
うるま。手土産としてはもちろ
ん自分用にも欲しくなつちゃ
うレアもの。ブティ・フル各店
舗にて数量限定販売です!

ラル豊富で高い軽度を誇る津堅
にんじんを、素材の風味そのまま
にんしんを、まさにバウダ
まつちり食感の米粉スポンジ
カスタードクリムアクセセン
トの白あんすべてに練り込ん
だまさにオンリーワンのご当地
地スイーツです。特有の臭みは
なく自然な甘さで、人参が苦手
な方や小さいお子様もきっと喜
んでくれるはず。

ブティ・フル
津堅にんじんロール
1,050円



かわいい、おいしい、エコなスイーツ。 うるま市の「津堅にんじんロール」



初回3000個の限定パッケージ うさぎをモチーフにした
風呂敷 リユースボックス
ポストカード付



スポンジ生地には米粉をフレンド、もっちりとした食感です
価格は1050円、販売はブティフル各店にて

津堅島産のにんじんをパウダーに加工して、風味がほのかに感じられるクリームをスポンジ生地に包み込み、にんじん餡をアーモンドトにしましたかわいいロールケーキが誕生しました。利用価値を見い出せずに廃棄処分されてしまう規格外品の市内の4つの事業所がチームを組んで開発。にんじん嫌いな子にも食べてもらえるようにと、うれしい工夫が詰まっています。うるま市内のブティフルで販売中。



原料のにんじんパウダ
は、津堅島の農業生産法人合
同会社萌芽が供給、製造販売
は(有)ブティフル、包材
などのデザインはmonobox
機、総合プロデュースはう
るま市地域雇用創造協議会
(地域活性化プロモーション
うるま)

問い合わせ先 ブティフル
うるま市石川店 ☎098(965)4702
みどり町店 ☎098(972)3575
江洲店 ☎098(973)5784

にんじんロール食べに来て

津堅島特産ケーキ開発



うるま市内で限定発売 「風味も味も」自信作

【うるま】市津堅島の特産品である「津堅にんじん」を利用した「津堅にんじんロール」が20日、市内限定で販売を開始した。同商協会共同開発、手掛けた、地域雇用創造協議会地域活性化プロジェクトによるまの統括マネジャーの中村薫さんは、「うるま市に来ないと味わえない味ぜひ足を運んで食べてほしい」と呼び掛けた。

【うるま】市津堅島の特産品である「津堅にんじん」を利用した「津堅にんじんロール」が20日、市内限定で販売を開始した。同商協会共同開発、手掛けた、地域雇用創造協議会地域活性化プロジェクトによるまの統括マネジャーの中村薫さんは、「うるま市に来ないと味わえない味ぜひ足を運んで食べてほしい」と呼び掛けた。

同商品は、市の特産品を活用して市内事業所で商品を開発し、市内限定販売を行うことで、観光客の誘客や地域産業を活性化させることが目的。同協議会が市内事業所に呼び掛け、同協議会と市内3社で共同開発した。

農業生産法人・萌芽が販売する「津堅にんじんパウダー」を使用し、洋菓子店のブティフルがロールケーキに仕上げた。初回限定生産の3千個は、monoboxが手掛けた専用可能な箱に入れ、同社デザインの風呂敷で包んで販売する。販売は並頭、ブティフルの市内3店舗のみで行う。価格は1個千円。

中村さんは「包装はかわいいデザインでお土産にもぴったり。合成着色料なども使わずしておらず、にんじんの風味も残しつつにんじんが草な子どもでも食べやすい味に仕上がった」とアピールした。

「にんじんロール」を販売する(左から)
地域活性化プロジェクトによるまの久高史也
さん、中村薫さん、仲地信さん(沖縄タイ
ムズ中部支社)

好事例
4

沖縄県

うるま市 うるま市地域雇用創造協議会



パッケージ
事業

「健康・長寿・美」と「IT津梁パーク」による雇用創出
～環金武湾振興QOLプロジェクトでグッジョブ～

実現事業

高付加価値型モノづくり産業集積・活性化推進事業

実践型事業

うるまの産業を育てる人づくり
～戦略的な新産業の創出による雇用・就業機会の充実～

1 地域の特徴及び事業の概要

うるま市

うるま市は沖縄本島中部に位置し、人口約11万人、東に金武湾、南に中城湾を臨み、有人、無人を含め8つの島々があり、これらの島々と本島を結ぶ海中道路や風光明媚な自然景観により多数の観光客を集めている他、中城湾港新港地区では情報通信産業の集積や特別自由貿易地域への企業立地が進んでいる。厳しい雇用状況の中、求人・求職のミスマッチ解消の為、求職者のスキルアップや求人の多い業種の人材育成、また観光産業振興を図り、雇用状況の改善を目指す。

ポイント

- 情報通信産業の推進による雇用拡大
- 生活関連産業（観光と健康）の活性化



海中道路

地域の特徴

人口	H17 113,535人		H22 116,979人		
労働力人口	H17 51,034人		H22 52,329人		
有効求人倍率 (新規登録者を除きパートを含む)(倍)	H21	H22	H23	H24	H25
	0.22	0.25	0.22	—	—
産業構成(就業者数) (平成17年度国勢調査)	第1次産業	第2次産業	第3次産業		
	2,429人	9,772人	31,146人		
(平成22年度国勢調査)	1,814人	8,076人	29,626人		
産業振興において重点的に取り組んでいる分野	■製造業	■情報通信産業	■農林水産業	■観光産業	

事業の概要

協議会名	うるま市地域雇用創造協議会		
協議会の主な構成団体	うるま市、うるま市商工会、うるま市観光物産協会、特定非営利活動法人ぶらぶ、(財)沖縄観光コンベンションビューロー		
委託費総額	〈パッケージ事業〉509,710(千円) / 〈実現事業〉75,950(千円) / 〈実践型事業〉322,565(千円)		

事業実施期間	パッケージ事業	実現事業	実践型事業
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ■情報通信産業を担う人材育成事業 ■健康・長寿・美容産業を担う人材育成事業 ■製造業を担う人材育成事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■3次元CAD/CAE普及支援事業 ■3次元試作モデル作成支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■情報通信産業を担う人材育成事業 ■健康・長寿・観光等生活関連産業を担う人材育成事業 ■観光物産商品の開発、観光体験プログラム等の検証

2 事業開始に至った経緯とねらい

全国的に雇用失業情勢が厳しい中、特に本市を管轄する沖縄職業安定所管内は雇用状況が著しく悪いため、さらなる雇用創出を図ることが求められている。

そこで、本市の産業振興と雇用状況の改善を目的とし、本事業を実施している。まず、情報通信産業分野においては、市でインフラ整備が進む情報サービス関連企業のニーズにあった即戦力となる人材の育成を図っていく。そして、生活関連産業（観光・健康）分野においては、地域資源を活かしたサービスメニューの開発、情報発信やプロモーション強化に取り組み、観光、健康産業の活性化による就業人口の増加を目指す。



闘牛大会

3 事業内容の特徴とその効果

パッケージ事業

情報通信関連産業、観光・リゾート関連産業、製造関連産業及び地域の特性を活かした産業の振興を図るとともに、企業誘致を促進し、地域内の雇用の場の拡大・創出を目指した。

雇用拡大メニューにおいては、創業者のための労務管理プログラムや中小企業向け財務戦略プログラムを実施。

人材育成メニューにおいては、健康・長寿・美容産業、情報通信産業や製造業を担う人材育成事業を実施。

就職促進メニューにおいては、街角コンタクトセンターを設置し、地域企業における雇用支援制度の活用促進に取り組み、地域受入れ企業の拡大を図った。



沖縄スパセラピスト育成研修

実現事業

新たなモノづくりに絡むビジネスモデルを開拓して、新たな雇用機会を創出し地域産業の活性化を目指した。

■3次元CAD/CAE普及支援事業

「3次元CAD/CAE技術者」を有効活用し、「特別自由貿易地域」をはじめとした地域製造業企業への利用向上を図り、新たな「モノづくりビジネス」の立ち上げを支援した。

■3次元試作モデル作成支援事業

3次元試作モデル作成で使用する機器の普及やビジネスモデルの認知度の向上支援、新たなモノづくりビジネス参入、ビジネスモデル開拓による製造産業の活性化を図った。



実現事業で製作した、あやはしロードレス記念メダル

実践型事業

雇用拡大メニューにおいては、市内企業・経営者向けに、うるま市に多い在住外国人を顧客として取り込むためのセミナーや経営向上を目指すセミナーを実施。

人材育成メニューでは、情報サービス産業や健康・観光産業を担える人材を育成するため、より実践的な技術を習得するセミナーを実施。

■建築系3DCADオペレーター育成研修

建築の分野でニーズが多くなりつつあるBIMの考え方を取り入れた3次元CADオペレーターの育成研修を開催。最新技術を取り入れるため3次元CADアプリケーション「CATIA デジタル・プロジェクト」を使用し、設計を製図の基礎からソフトの使い方まで理解のできる研修を実施。

■スマートフォンアプリ技術者育成研修

IT業界でトレンドとなっているスマートフォンに特化したアプリケーション開発を学ぶ講義を行い、JAVA言語を基礎から学びプログラムの基礎から最終的にアプリケーションの制作手順を理解できるまでの研修を実施。

■健康運動指導者養成研修

健康ランドやスポーツ施設への就業や起業を目的に、自ら見本を示せる実技能力と、個人や団体に対する運動指導技術に長けたものを養成する研修を実施。

■トラベルヘルパー養成研修

介護旅行についての基礎知識や車いす介助、公共交通機関の使用の仕方を学び、実践に活かせる研修を実施。

雇用創出実践メニューにおいては、地域観光における実地調査、合わせて観光土産品の開発を行い食品加工、小売業などの産業活性化を目指すことで、地域内での観光関連産業に従事する人材の育成、雇用機会の拡大を目指している。



雇用創出実践メニューで開発した津堅にんじんロール

4 事業成果(事業指標)

■パッケージ事業アウトプット指標

	平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
雇用拡大(社)	20	45	225	40	86	215	30	107	357
人材育成	270	246	91	380	458	121	380	477	126
就職促進	329	717	218	493	1,005	204	493	655	133

■パッケージ事業アウトカム指標

	平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
就職創業者数	259	258	100	373	462	124	373	422	113

■実現事業に従事する労働者数6(うち地域求職者数4人)

■実践型事業アウトプット指標

	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
雇用拡大(社)	60	68	113	120	—	—	120	—	—
人材育成	225	288	128	430	—	—	430	—	—
就職促進	60	81	135	120	—	—	120	—	—

■実践型事業アウトカム指標

	平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率
就職創業者数	120	132	110	224	—	—	226	—	—

実践型事業に従事する労働者数6人(うち地域求職者数6人)

5 事業成果(その他波及的効果)

パッケージ事業

人材育成メニューの美容分野では、それまで独学で勉強してきた経験に知識を取得して独立をしたいという研修生が数名おり、資格取得後は無事に開業することができた。情報通信分野では、PCの基本操作を学びながら研修を通して自信がつき、就職先の範囲を拡大する研修生も多くみられた。介護分野については企業側から就職希望者に当セミナーを進めるという事例もあった。

実現事業

実際に商品化されたうるま市あやはしロードレースの記念メダルや環金武湾ウォーキングフェスタでの記念バッジなどを配布することにより製作の経緯を地域内の企業が興味を示し、自社でも是非取り組みたいという話を数多く受けた。実際、うるま市へ進出してきた企業もある。今後は3次元試作機等の機材を共有的に利用できる施設を探し、さらなる事業拡大と雇用創出を目指す。

実践型事業

人材育成メニューでは求人・求職のミスマッチ解消に向け、地域に求められる人材育成を目指した。その結果、建築系3DCADオペレーター研修を受講した研修生が地域内で3次元CADを使用する企業に採用され活躍しています。その他、観光センター育成研修で、観光ガイドとしての就職者や観光産業で創業者を創出するなど、各研修の関連分野での就職、創業へつながっていました。

雇用創出実践メニューにおいては、うるま市の名産品である津堅にんじんを使用した津堅にんじんロールを開発し、市内複数店舗にて販売され、市民から好評を得ている他、雇用も創出している。今後も販売店舗を増やし、うるま市を代表する商品として広めていく。

6 事業推進において生じた課題と解決に向けての取り組み

様々な研修、セミナーを開催し地域内から多くの参加があった中で技術の習得、就業意識の向上という観点においては参加した求職者の方々に一定の評価をいただいだと考えている。

セミナー参加後のアンケートやご意見を通して見えてくる現実的な課題としては、技術の習得だけでなく、地域内企業と求職者を結びつけるためのアプローチが必要であり、今後、地域企業との関係性をより密にしていくことで、企業の求めている人材像を明確にしそれに沿ったカリキュラムを策定していく。

7 事業実施に対する地域からの評価

パッケージ事業

これまで県内の開催がなかった健康運動実践指導者養成講習会を実施したことにより介護施設や自治体からの問い合わせが殺到し、毎年開催してほしいという要望が多く寄せられました。ものづくり分野においては、研修生を雇用した企業側から、研修生のスキルを高く評価され再度当研修の受講生を採用したいという声もあつた。

実現事業

企業訪問を繰り返し実施するなかで、各企業からは自社商品の開発やアイディア段階でのイメージづくりに本事業で取り組んだ3次元CADは非常に有効でコストの部分でも低く抑えられることから好評を得ている。あやはしロードレースの大会メダル作成、環金武湾ウォーキングフェスタでは記念バッジの作成と試作品から実用化され参加選手へ進呈されている。

実践型事業

人材育成メニューにおいては地域内企業への就業を目指すセミナーを積極的に行っているが、パソコン入門顧客対応研修、CC対応キャリアアップ研修については「コールセンターのロールプレイングが体験できてよかったです」、「労務管理やセキュリティなど管理者に必要なスキルを学べた」等の評価を、建築系3DCADオペレーター育成研修などの専門性が求められる業種への就業を目指す研修においても、「3DCADソフトの操作、建築を基礎から学べるなど為になることが多かった」等、多くの良い評価をいただきました。その反面、「もっと深い講義内容が欲しい」等、課題となるご意見もあったため、今後のセミナーに反映させ、地域求職者の方々に落とし込んでいきます。

雇用創出実践メニューで開発した「津堅にんじんロール」の商品開発においては発売直後より地域の方々から、野菜でスイーツをつくる事や、工場観点のパッケージで商品付加価値を付ける発想への反響が多くあった。平成25年10月に開催された実践型地域雇用創造事業シンポジウムの成果物コンテストでも多くの地域から好評価を受け、見事1位に選定された。また、地元農家、製造メーカーからは「分業制(企業間連携)の6次産業化の手法を一緒に考えてほしい。」など、今後の地域発展、活性化に向けての前向きな言葉をいただいている。



建築系3DCADオペレーター育成研修

8 事業終了後の取組と今後の方向性(実践内容も含む)

本市が抱える国際物流拠点産業集積地域において、高度技術製造業賃貸工場やモバイル機器等検証拠点施設等が整備され、モノづくりの基盤であるサポーティング産業などIT関連企業の立地と雇用が生まれ、実現事業での波及的効果は確実に表れ始めている。この成果を継続して地域に波及させるために、更に企業誘致を強化し、本事業で育成した求職者をしっかりと繋げていくことが重要だと考える。また市では農水産業振興戦略拠点施設整備推進事業において、うるま市直売所(仮称)を平成28年に供用開始予定で、実践メニューで構築した観光物産商品の成果物やノウハウを提供していくフィールドとして活用していく。



うるま市直売所(仮称)完成イメージ図

事業(取組)の流れ

地域の課題・取組の背景

- 完全失業率が高く、雇用状況が厳しい脆弱な産業基盤

パッケージ・実現事業・実践型事業の取組・成果

- 情報通信および生活関連産業への人材育成
- 街角コンタクトセンター等就労支援窓口の整備
- モノづくり産業高度化の促進
- 観光商品の開発及び検証

今後の流れ(事業終了後の展開)

- 企業誘致と人材育成を連携して行い雇用創出効果を高めていく
- 農水産業振興戦略拠点施設において観光商品開発・販路拡大を展開

地域からの声

本事業を実施し、人材育成にて取得したスキルを生かし地域内企業に就職している地域内求職者が多数みられ、求人・求職のミスマッチ解消、関連産業の企業誘致促進、地域経済の活性化へ大きな効果が得られました。

雇用創出実践メニューにおいても地域の声を多く拾い、求められる商品を地域住民と一緒に開発していくことで、単なる雇用創出事業にとどまらず地域活性化へつながる事業として展開しつつあります。

今後とも厳しい雇用状況を改善していくためには、行政と地域住民、地域企業が連携した柔軟な取り組みを行い、本当に地域に必要な事業を行なうことが必要だと思います。

